

# 「日本語学オリンピック」初出場！ 銀賞・銅賞を獲得しました

文責：中村(美)

※大会結果 H.P. (<https://iolingjapan.org/record-jol/>)

12月29日(木)、「日本語学オリンピック(JOL)2023」に2年生4名がオンライン参加しました。言語学オリンピックは、数学オリンピックや物理オリンピック同様科学オリンピックの一つで、本校からの出場は(学校が把握する限り)初めてです。参加者は2時間かけて言語問題5題に挑み、未知の言語を解読する能力を競い合います。

以下はトンガ語で書かれた数式です。

valu ono	=	86
tolu × tolu tolu	=	hiva hiva
taha tolu × fitu noa	=	hiva taha noa
ua nima × fā	=	taha noa noa

(a) 324, 1228 をそれぞれトンガ語で表してください

(b) fitu ua valu を算用数字で書いてください

本校生徒たちは本番2週間前というギリギリのエントリー。修学旅行や部活の冬休み期間の練習などのイベントが重なる中、時間をやりくりしながらそれぞれの方法で準備を進めました。

当日は出場した全員が2~3問をきっちりクリア。

初出場にして1名が銀賞、1名が銅賞を獲得するという快挙でした！

公式 HP の例題より引用

<https://iolingjapan.org/sample-problems/#sample5>

～参加者の声(当日アンケートより抜粋)～

Aさん 元々興味があったところに、QuizKnockの動画と古典の授業でピックアップされたことがきっかけで参加を決めました。(パズルが好きなので実際にやってみてすごく楽しかった。)両親や先生の後押しも大きかったです。クラスで隣の席の友達もエントリーしていたので、解説がない過去問は一緒に確認したりして準備しました。言語学と名前がついていますが、個人的には謎解きのような感覚です。知識ではなく、分析能力を問われるものなので、謎解き等が好きな人はぜひやってみてください。

楽しかった。当日に向けて自分の机にパソコンとプリンターを置き、すぐ印刷できるように事前に練習した。スムーズに印刷できてよかった。直前は冬期講習や大掃除などで思った以上に忙しく、過去問を解くことなく本番に臨んでしまったのは心残りだった。

Bさん

Cさん 言語学という言葉にひかれて参加を決めました。実は本番の問題を解き始めるまで、問題を解くのを全く楽しんでいませんでした。でも最初の問題を解き始めた途端に突然楽しいと感じました。夢中で問題を解き、疲れも感じずにあっという間の2時間を過ごしました。それまで冬休みの楽しい思い出は部活仲間とのクリスマス会だけだと思っていたのですが、言語学オリンピックも良い思い出になりました。あのクリスマス会と並ぶ思い出になるということは、私の中では凄いことです。

楽しかった。銅賞ぐらい取りたい。

Dさん

(この後、願い通りDさんは銅賞を受賞しました。)

年の瀬迫る中、4名ともよく頑張りました。

彼らの経験は、来年以降の厚高生にとっても財産になるはずです。

言語学オリンピック公式 H.P. (<https://iolingjapan.org/>)